

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 11 月 18 日(2022.11.18)

【公開番号】特開 2021-10529(P2021-10529A)
【公開日】令和 3 年 2 月 4 日(2021.2.4)
【年通号数】公開・登録公報 2021-005
【出願番号】特願 2019-125763(P2019-125763)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 10 日(2022.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出識別情報の可変表示を行い遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

複数の遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段と、

前記遊技状態が切り替わるときに、前記演出識別情報を一旦視認困難とする特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、

決定手段の決定結果にもとづいて、前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

30

前記特別演出実行手段は、

前記特別演出として、動画像データに基づいた分離されている複数の特定画像が徐々に結合していく表示を行うことなく、静止画データに基づいた分離されていない前記複数の特定画像を前記演出識別情報の前方に表示して前記演出識別情報の前側全てを視認困難とする疑似閉鎖演出を実行した後に、前記複数の特定画像が分離して前記演出識別情報の前側全てが視認可能となる開放演出を実行し、

前記特別演出実行手段が前記疑似閉鎖演出を実行する際に前記複数の特定画像が結合したような演出音を出力可能であり、

前記示唆演出実行手段は、

前記示唆演出の実行中において、特殊演出を含む態様で実行する第 1 パターンと前記特殊演出を含まない態様で実行する第 2 パターンとで前記示唆演出を実行可能であり、

40

前記示唆演出が実行されたときに、前記有利状態に制御されないことが一旦示唆された後に前記有利状態に制御されることが報知される特別パターンで前記示唆演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 9 】

（手段 A）本願発明による遊技機は、演出識別情報の可変表示を行い遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

複数の遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段と、

前記遊技状態が切り替わるときに、前記演出識別情報を一旦視認困難とする特別演出を実行可能な特別演出実行手段と、

決定手段の決定結果にもとづいて、前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記特別演出実行手段は、

前記特別演出として、動画像データに基づいた分離されている複数の特定画像が徐々に結合していく表示を行うことなく、静止画データに基づいた分離されていない前記複数の特定画像を前記演出識別情報の前方に表示して前記演出識別情報の前側全てを視認困難とする疑似閉鎖演出を実行した後に、前記複数の特定画像が分離して前記演出識別情報の前側全てが視認可能となる開放演出を実行し、

前記特別演出実行手段が前記疑似閉鎖演出を実行する際に前記複数の特定画像が結合したような演出音を出力可能であり、

前記示唆演出実行手段は、

前記示唆演出の実行中において、特殊演出を含む態様で実行する第 1 パターンと前記特殊演出を含まない態様で実行する第 2 パターンとで前記示唆演出を実行可能であり、

前記示唆演出が実行されたときに、前記有利状態に制御されないことが一旦示唆された後に前記有利状態に制御されることが報知される特別パターンで前記示唆演出を実行可能である、

ことを特徴とする。

さらに、（手段 1）本発明による遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能であり、不利設定値（例えば、1～3）と該不利設定値よりも遊技者にとっての有利度が高い有利設定値（例えば、4～6）とを含む複数の設定値のうちからいずれかの設定値を設定可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、複数の遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 100 におけるステップ 080 IWS 2205～S 2207，S 2210～S 2219，S 2222～S 2225，S 2227 を実行する部分）と、遊技状態が切り替わる時（例えば、イレギュラー大当りが発生するとき、低確率 / 高ベース状態中の 50 変動目の変動表示を実行するとき）に、所定表示（例えば、左中右の飾り図柄）を一旦視認困難とする特別演出（例えば、シャッター演出）を実行可能な特別演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 におけるステップ 080 IWS 503，S 505，S 506，S 508，S 512 を実行する部分）と、を備え、特別演出実行手段は、特別演出として、特定画像（例えば、図 9 - 43（B）および図 9 - 44（A）に示す上下のシャッター 080 IW 033，034 が閉まっている状態の静止画像）を表示して所定表示を視認困難とする疑似閉鎖演出を実行した後に、該特定画像が分離して所定表示が視認可能となる開放演出（例えば、図 9 - 43（C）～（F）および図 9 - 44（B），（C）に示す上下のシャッター 080 IW 033，034 が徐々に開いていく動画像）を実行し、さらに、有利状態に制御することを決定可能な決定手段（例えば、CPU 103 が図 12 に示す特別図柄通常処理を実行する部分）と、決定手段の決定結果にもとづいて有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えば、リーチ演出）を、特定演出（例えば、パターン CI - 3 のカットイン演出）を含む態様と含まない態様にて実行可能な示唆演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 が図 13 - 18 に示すカットイン演出決定処理を実行した後に図 7 に示す可変表示中演出処理を実行する部分）と、特定演出とは異なる演出であって有利状態に制御されることを報知する特別報知演出（例えば、パターン CI - 4 のカットイン演出）を実行可能な特別報知演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 が図 13 - 18 に示すカットイン演出決定処理を実行した後に図 7 に示す可変表示中演出処理を実行する部分）と、を備え、有利状態は、第 1 有利状態（例えば、大当り A や大

10

20

30

40

50

当り B の大当り遊技状態)と該第 1 有利状態よりも遊技者にとって有利な第 2 有利状態 (例えば、大当り C の大当り遊技状態)とを含み、示唆演出実行手段は、不利設定値に設定されており、かつ決定手段によって有利状態に制御されることが決定されていないときには、特定演出を含む態様の示唆演出を実行不能であり (例えば、図 13 - 21 (B) に示すように、パチンコ遊技機 1 に設定されている設定値が 1 ~ 3 のいずれかであり、かつ可変表示結果がはずれである場合は、カットイン演出をパターン C I - 3 で実行不能な部分)、有利設定値に設定されており、かつ決定手段によって有利状態に制御されることが決定されていないときには、特定演出を含む態様の示唆演出を実行可能であり (例えば、図 13 - 21 (C) ~ 図 13 - 21 (E) に示すように、パチンコ遊技機 1 に設定されている設定値が 4 ~ 6 のいずれかであり、かつ可変表示結果がはずれである場合は、カットイン演出をパターン C I - 3 で実行可能な部分)、特別報知演出が実行されて有利状態に制御される場合は、第 2 有利状態に制御され (例えば、図 13 - 21 及び図 13 - 22 に示すように、カットイン演出がパターン C I - 4 にて実行される場合は、必ず可変表示結果が大当たりとなり大当り C の大当り遊技状態に制御される部分)、特定演出を含む態様の示唆演出が実行されて有利状態に制御される場合は、第 1 有利状態または第 2 有利状態に制御される (例えば、図 13 - 21 及び図 13 - 22 に示すように、カットイン演出がパターン C I - 3 にて実行される場合は、可変表示結果が大当たりとなると、大当り A、大当り B、大当り C のいずれかの大当り遊技状態に制御される部分)ことを特徴としている。そのような構成によれば、特別演出においてスムーズに所定表示を隠して簡易な表示で表示切替を行うことができる。また、特別報知演出が実行されるか否かに遊技者を注目させることができるとともに、特定演出を含む示唆演出が実行されて第 2 有利状態に制御される場合があるので、有利設定値が設定されている場合に特定演出を含む示唆演出が実行されて有利状態に制御されない場合の遊技興趣の低下を低減できる。

10

20

30

40

50